

フィオーレ



2025 年 7 月号



■ あいさつ	社会医療法人同心会 古賀総合病院 副院長 木原 康
■ 登録医の紹介	四季クリニック 院長 石坂 裕司郎 先生
■ 院内ニュース	無痛分娩について
	診療科紹介 眼科
	関連施設紹介 古賀ケアプランセンター
	2024 年度 地域医療機関における「連携」に関するアンケート



今年もまた暑い季節になってきましたが、皆様いかが過ごしていらっしゃいますでしょうか。この夏も猛暑の予想になっているようで、皆様方も体調に気を付けてお過ごしください。

最近“米”の話題がマスコミをにぎわせています。米の高騰、備蓄米、古古古古米など話題に事欠きません。米の価格が選挙結果にも影響しそうな状況です。そうかと思えば米国の関税引き上げなど米国に関する話題も事欠きません。米国による一方的な高関税は世界経済を混乱に巻き込んでいます。どなたかの戦争はすぐ終わるような発言は全くの空振りで、戦争はどんどん拡大していくばかりです。今年はまだ半年程度ですが、年末の今年の漢字は“米”で決まりではないでしょうか。

このような不安定な社会の中で政府はデフレ脱却(=インフレ)や賃上げを求め、物価は上昇しています。どの業種でも人材不足は共通しており、賃金上昇は必然的に起こってきます。それにもかかわらず診療報酬はそれに見合う上昇はなく、全国の医療機関で経営悪化が叫ばれている状況です。企業に賃上げを求める前に診療報酬を上げてもらいたいものです。

このような混沌とした社会環境ではありますが、古賀総合病院では昨年ロボット支援手術装置ダヴィンチや高性能放射線治療装置VitalBeamTMを導入しました。ここで高性能放射線治療について何が高性能なのかと疑問をもたれる方もいらっしゃると思いますので、ざっくりとした説明をしたいと思います。放射線治療はがんにできるだけ絞って治療し、健常組織の照射を減らせれば線量増加で根治の可能性が高くなりますし、副作用の軽減も期待されます。特に放射線に弱い組織の線量を減らすことが重要になります。このため、放射線治療標的の近くに放射線感受性の高い臓器ある場合、高線量領域を一部削ったような照射野にできるとより安全な照射野になる場合があります。こういう場合に利用されるのがIMRTで、前立腺がんの治療で直腸線量を落としたり、頭頸部がんの治療で脊髄の線量を落としたりすることが可能になります。また、臓器の微妙な体内の移動に合わせて照射野の調整ができるIGRTで臓器の移動を補正したり、呼吸監視装置で呼吸移動を考慮した照射が可能になっています。このように体動を補正することにより余分なマージンを減らすことができます。(従来の装置だと位置のずれを考慮して広範囲に照射する必要がありました。)

これらの医療装置は大変高額ではありますが、当院が地域医療支援病院としての役割を果たすため、また人材の育成のためにも必要な装置であると思っています。これらの高額な機器導入はある意味、“米百俵”の精神と言えるのではないかと思います。(米百俵の精神:明治維新後の戊辰戦争で敗れた長岡藩は石高を5分の1程度に減らされ、藩士らは満足に食事もできない状態であった。その惨状をみかねた支藩の三根山藩から百俵の米がおくられてきた。家中の藩士のこれで困窮から脱せるとの思いをよそに、藩政を任されていた小林虎次郎はこれで学校を建てると宣言し国漢学校を設立した。そこには分別のある判断ができていたらこのような困窮状態にならなかったという思いがあったとされている。)

このように古賀総合病院では新しい装置を充実させ、地域医療支援病院として皆様方の期待に応えられるような病院を目指していきたいと思っています。これからも一層のご協力、ご支援をお願いいたします。

四季クリニック

〒880-2234

宮崎県宮崎市大字金崎 1 4 5 5 - 1

TEL : 0985-41-3011

診療科目

内科・循環器科



院長 石坂 裕司郎 先生

日頃から古賀総合病院の先生方には専門外来から緊急入院まで大変お世話になっており、この場をお借りして深謝を申し上げます。

平成13年1月に開業し、今年で24年目になります。宮崎市の生目の杜運動公園の近くに位置しています。県道17号線沿いにある関係で国富町、高岡町、綾町からも受診される方がおられます。

私は、宮崎医科大学を昭和61年卒業後、第一内科に入局しました。宮崎医科大学大学院で学位を取得後、県立宮崎病院に循環器内科医として勤務、アメリカ留学を経て大学病院に勤務しましたが、病院での医療に限界を感じることがあり開業いたしました。家内も第一内科出身で、開業後は二人で地域医療、在宅医療を担って参りました。

当初は、勤務した病院とは違った外来風景に不安もありましたが、還暦を過ぎると人の成長やつながりを感じつつ、外来診療を楽しんでいます。

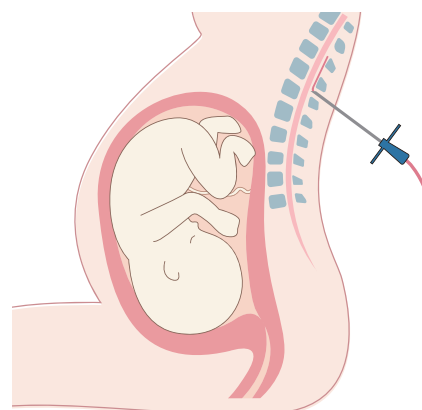
過去10年、貴院への紹介状を調べると200件近くありました。内科を中心にほぼ全科に紹介しておりました。高齢者の急変時にも地域連携室を通じて速やかに対応していただけることが多く、大変感謝いたしております。詳細な返書をいただきますが、内科領域においては知識のブラッシュアップにつながります。患者さんや家族の方も検査、治療、説明に対する満足度も高いようです。これからも地域の役に立てればと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。





当院産婦人科では、2024年12月から無痛分娩を開始しました。陣痛の痛みは個人差がありますが、日常生活で遭遇する痛みよりもはるかに強い痛みです。無痛分娩は麻酔を用いて陣痛に伴う痛みを和らげながら出産を行う方法です。痛みを完全に取り除くのではなく、麻酔により痛みを和らげることで分娩のストレスが軽減することができます。和痛分娩と呼ぶ施設もありますが、その両者には明確な定義はありません。以下当院における無痛分娩の方法や、対応についてご説明します。

当院における無痛分娩は、脊髄くも膜下麻酔併用硬膜外麻酔を行っています。最大の痛みの約2～3割程度の痛みを抑えることを目標にしています。対象となる患者は、無痛分娩を希望される患者さんで、医学的禁忌(血液凝固能に異常がある患者さんなど)がないことが条件になります。麻酔を開始するタイミングは、分娩活動期(子宮口が6cm以上開大、分娩の進行がそれまで以上にどんどん進んでいく時期)になります。尚麻酔を担当する医師は、当院常勤麻酔科医師になりますので、麻酔を開始するタイミングは平日の朝8時から夕5時の間になります(無痛分娩を希望されても、このタイミングに該当しなければ挿入きないことになります)。陣痛の時期・いきむ時期・分娩後の産道の傷を縫合する時期それぞれ痛みの部位や強さも異なりますので、それぞれ薬剤の量を調整していくことで、きめ細かく、痛みを取り除くことができます。



▲ 脊髄くも膜下麻酔併用
硬膜外麻酔

一方で、全国的に無痛分娩に関連した重篤な事例が報告されており、安全な無痛分娩を提供するために必要な診療体制をとることが必要になります。当院は、JALA(無痛分娩関係学会団体連絡協議会)に所属しております。その中での講習会への参加や、J-CIMELS(日本母体救命システム普及協議会)での講習会で母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを通して学ぶ機会を設け、患者さんの無痛分娩に伴う痛みの緩和を、安全性をもって、対応できるよう日々努力しています。少子化著しい昨今ではございますが、患者さんのニーズに応えるべく、安全に無痛分娩を実践して参ります。詳細をご確認されたい場合は、いつでも当院までご連絡よろしくお願いいたします。



眼科 部長 齋藤 真美



古賀総合病院眼科医師の齋藤真美です。

宮崎大学医学部眼科学教室を退局し当院に赴任致しましたのが2015年でしたので、勤務歴10年になります。

赴任当初は眼科医一人体制のため、できることに限界があったり、相談相手が身近に居ない不自由さを感じたりしておりましたが、周りのスタッフや病院全体の職員の皆さんに助けて頂き診療体制を徐々に整えることができました。

また、その頃当院に眼科が存在することを御存じない患者さんも多くおられたので、如何に周知するかという工夫も理事長、院長、事務長等と相談の上、行ってきました。

お陰様で少しずつですが患者さんも増え、間もなく手術を行う体制も整えて頂き、現在の状況に近い診療ができるようになりました。

その後、2019年からは大学医局の後輩である児玉悠医師が赴任し、二人体制での診療が始まりましたので、診療内容の幅も広がってきました。例えば、手術に於いては外眼部手術や白内障手術がメインであったものが、硝子体手術や硝子体内注射の対象疾患まで治療可能となりました。



現在、眼科では月、水、金曜日の午前・午後及び火、木曜日の午前に外来診療を、火、木曜日の午後は手術を行っています。

手術件数としましては、年間約200例程度といったところですが有床診療が可能であること活かし、更に症例数を増やしていきたいと思っています。

また、当院で毎週水曜日に行われる糖尿病患者さんを対象とした「糖尿病教室」にて、月1回眼合併症の講義を担当しています。

糖尿病や甲状腺疾患等は眼合併症を伴うことが多いため、眼科は特に内分泌代謝内科との関連が強い科である印象があると思いますが、それ以外に

も神経眼科という神経内科と関連のある領域があったり、未熟児網膜症の管理を行うという観点から産婦人科との連携も重要であったりします。それ以外の診療科でも、ほぼ例外なく連携が不可欠な疾患が多々あります。

総合病院内の診療科であることの強みを活かし、今後も日々精進して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



関連施設紹介 古賀ケアプランセンター

古賀ケアプランセンター 室長 村岡 俊透

古賀ケアプランセンターでは、ケアマネジャー(介護支援専門員)が在宅介護・療養に必要な在宅サービス利用を支援するために、居宅介護支援サービス(ケアプラン)の作成を行っております。

事務所は、古賀総合病院の北側に位置し、併設する古賀訪問看護ステーションあおぞらや、介護老人保健施設春草苑、地域の介護保険事業所等と協働し、地域にお住いの要介護認定者の在宅生活継続に向けて支援を行っております。

事業所運営においては、介護保険制度の理念である「尊厳の保持」「自立支援」を目的とし、特に医療的管理を要する利用者の方や、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリテーションが必要な方。(認知機能の低下予防、家事動作の継続、住環境への提案)様々な課題を抱えられた利用者の相談支援・必要性に応じた介護保険サービス等の案内を行っております。また、悪性腫瘍等の診断を受けられた方の在宅療養について、地域の先生方・訪問看護ステーション等と連携し、医療機関退院後の早期支援にも力を入れております。

宮崎市における高齢化率は、令和6年度で29.7%(宮崎県全体34.0%)と、約3人に1人が高齢者となっており、介護保険申請に至る方の割合も増加しています。また、昨今の物価高騰に伴い、日用品・生活費等の値上げが続いている事が高齢者世帯の大きな負担となっております。そのため、早期からの健康の保持増進が求められており、介護保険制度においてもそのサービスの必要性をより明確にする事が介護支援専門員に求められております。

地域の利用者の方々の声に耳を傾けると、様々な生活課題を抱えながらも「住み慣れた自宅での生活を、家族と続けていきたい。」「自分の足で歩いて、買い物に行きたい。」「一人暮らしは不安だけど、身の回りの事は自分でやっていきたい。」という声を頂きます。その利用者の方々のストレングスに着目し、住み慣れた地域での暮らしを実現できるよう、支援させて頂きたいと考えております。

通常の訪問実施地域は、宮崎市・国富町を対象とし、受け入れを行っております。



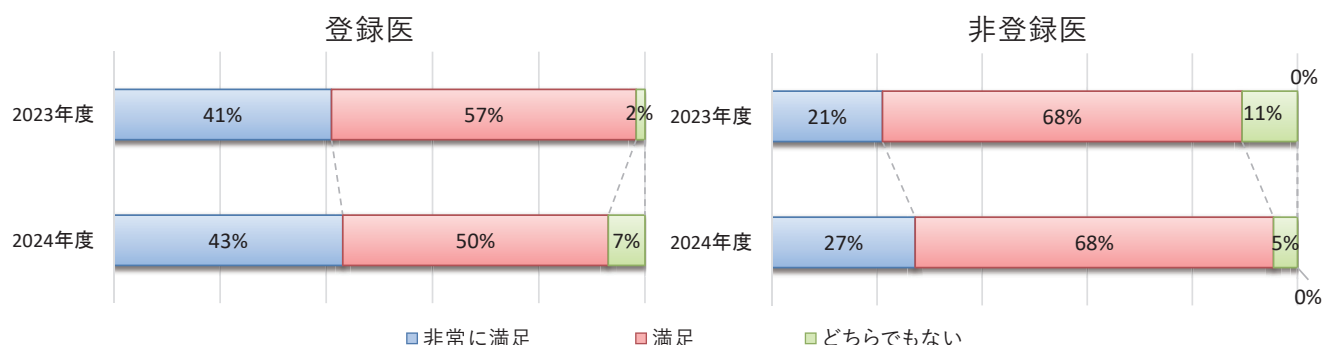
2024 年度 地域医療機関における「連携」に関するアンケート

地域医療連携室 師長 権田 明子

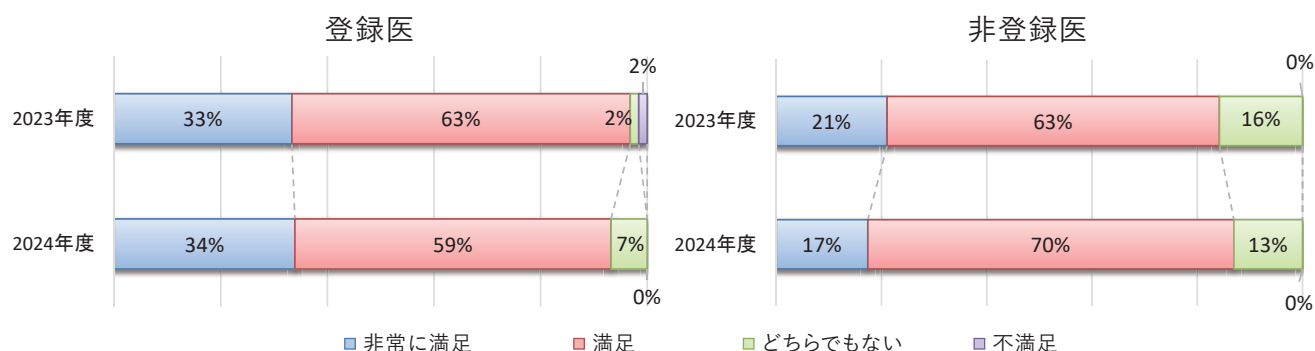
当院では地域の先生方との診療連携向上のため、毎年登録医及び非登録医の施設アンケートを実施しております。2025年1月に登録医199施設、非登録医214施設を対象に調査を行いましたのでご報告いたします。

総合評価では登録医93%、非登録医95%が「非常に満足」「満足」を選択していただきました。ご意見・ご要望では「総合的に大変ありがたい病院です」「いつも迅速な対応をしていただき有難うございます」とのご意見や、「できる限り救急患者の受入をお願いします」「時間外にお願いできると助かります」等のお言葉をいただいております。

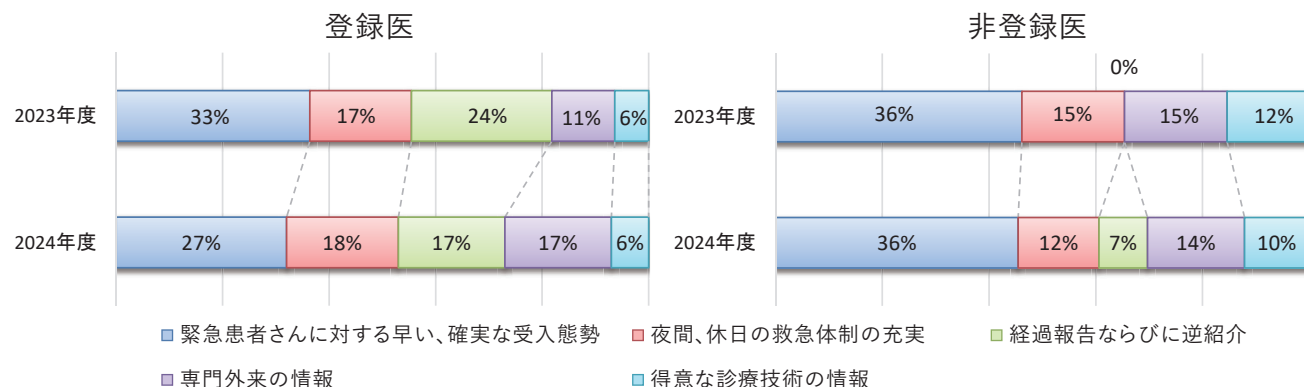
≪ 当院の総合的評価 ≫



≪ 受入体制の満足度 ≫



≪ 当院に何を期待していますか ≫



今後も地域医療支援病院として地域の先生方との連携を円滑にするため、紹介患者さんに対する医療の提供や、救急医療の実施など体制の強化を目指して参ります。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

理念

「患者さんやご家族に納得していただける医療・介護・福祉サービスを継続して提供します」

基本方針

1. 質の高い組織マネジメントの遂行
2. 設備・環境の改善
3. 職員の資質向上（人材育成）
4. チーム医療の推進
5. 相手の立場に立った目配り・気配り
6. 健全な経営管理

地域医療連携室からのご案内

＜今後の研修予定＞

◎ 研修のご案内は随時お知らせしてまいります。

* お問い合わせ直通:0985-39-8952 FAX:0985-39-0372 Email:kqh-renkei@kqh.or.jp

* 受付時間:平日 8時30分 ~ 17時00分

＜お知らせ＞

◎ 泌尿器科は予約制です。患者さんから病院までお気軽にご連絡ください。(※)

古賀総合病院代表:0985-39-8888

◎ 消化器内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科は予約制です。

患者さんから内科外来あてにお気軽にご連絡ください。(※)

内科外来直通:0985-39-0412

受付時間:平日 14時00分～17時00分

※ 急患に関してはこの限りではありません。

関連施設



【フィオーレ KOGA 看護専門学校】

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東2丁目2-10

TEL 0985-38-8010 FAX 0985-38-8020

【介護老人保健施設 春草苑】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8899 FAX 0985-39-8978

【フィオーレ KOGA】

〒880-0812 宮崎市高千穂通 2-7-14

・古賀駅前クリニック (1F)

TEL 0985-22-2111 FAX 0985-23-9598

- ・古賀駅前クリニック健診センター (2F)

TEL 0985-22-2112 FAX 0985-32-0317

- ・メディカルフィットネスフィオーレ(3F)

TEL 0985-22-2113 FAX 0985-22-2791

・鍼灸院フィオーレ (1F)

TEL 0985-22-8950

【古賀在宅ケアセンター】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1763-3

・古賀訪問看護ステーション あおぞら

TEL 0985-39-8127 FAX 0985-39-9160

・居宅介護支援事業所 古賀ケアプランセンター

TEL 0985-39-9150 FAX 0985-39-9160

発行元：古賀総合病院 庶務課 2025 年 7 月発行

2025 年 7 月発行

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8888 FAX 0985-39-0067

E-mail info@kgh.or.jp